

評価結果概要表

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3871000331
法人名	有限会社 たちばな
事業所名	グループホーム たちばな
所在地	愛媛県伊予市灘町136-2
自己評価作成日	2009.08.24

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（このURLをクリック）

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	平成21年8月31日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

<p>協力医院と連携して、利用者様の健康管理を行っており、またリハビリなども行いADLの向上に努めています。</p>
--

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

<p>ご家族の来訪は現在頻繁にあり、利用者個々の誕生会時には、ご家族の方達が集まって一緒にお祝いをされることもある。又、施設新聞で利用者の日頃の様子を伝えたり、意見や要望を出していただけるよう記載されている。 夏祭りのカラオケ大会には、毎年、ご家族の方とデュエットされる利用者がある。時に、友人や近所の方が訪ねて来てくれ、居室でおしゃべりを楽しんでいる。 入浴がお好きな方が多く、併設デイサービスの軟水を使用した大浴場を楽しみに入浴される方が多い。</p>
--

・サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） 項目 1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当する項目に印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目：23,24,25)	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目：9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目：18,38)	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目：2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目：38)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目：4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目：11,12)
60	利用者は、戸外に行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目：30,31)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らさせている (参考項目：28)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- .理念に基づく運営
- .安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

事業所名 グループホーム たちばな

(ユニット名) グループホーム B棟

記入者(管理者)

氏名 岩井 一美

評価完了日

H21年 8月 24日

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
理念に基づく運営				
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	(自己評価) スタッフ掲示板にし、いつでも見ることが出来るようにしている。 (外部評価) 「心の安らぎがあり 穏やかで生きがいを持ち 充実した生活をおくれる」という理念を開設時に作成して、玄関の掲示板に掲示されている。管理者は、職員に理念を具体的に話すことに努めておられる。	事業所は、「地域の方に気軽に立ち寄ってもらえるようなホーム」になりたいと考えておられる。この機会を活かして、地域密着型サービスの意義を踏まえた理念という点から現在の理念を点検し、話し合われてほしい。理念の実践に向けて管理者は、理念を語り、牽引していかれてほしい。
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	(自己評価) ・外出や行事等、外部の方やご家族と出来る限り招くように 取り組んでいる。 ・定期的に新聞を発行している。 (外部評価) 3ヶ月毎に発行される施設新聞を、ご家族や近隣の方々に届け、事業所のことを知ってもらえるよう取り組まれている。近隣の農業高校生活科学科の生徒が授業の一環で事業所を訪れ、利用者と一緒にレクレーションを体験されたり、施設全体の夏祭り時にはボランティアに来てくれている。運営推進会議参加者の方が野菜を届けてくださったり、介護のことで相談の電話をもらうこともある。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	(自己評価) ・定期的に消防署との連絡を取り応急処置の方法等を学ぶ様にしている。 ・概ね2ヶ月毎の運営推進会議や年に1回の夏祭りを開催している。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)	
4	3	運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価)	<p>至らない点もあるが、概ね2ヶ月に1回開催するようにしている。御家族等に参加協力をして頂き違った視点からの意見交換を行っている。</p>	
			(外部評価)		
5	4	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	(自己評価)	<p>ケアプランや、規定、基準、加算項目等疑問点は市の方へ確認を行っている。</p>	
			(外部評価)		
6	5	身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価)	<p>安全の為施錠や身体拘束はあるが、出来る限り利用者の方の気持ちを大切に実施している。</p>	
			(外部評価)		

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 学ぶ機会を持っていない(研修へ参加する等)	
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価) 学ぶ機会を持っていない(研修へ参加する等)	
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 口頭と文章で説明を行い十分に御理解頂いた上でサインや印を頂いている。	
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 職員から御家族に対して連絡に努めている。面会等の際は利用者様の日頃の様子を伝えるようにしている。 (外部評価) ご家族の来訪は現在頻繁にあり、利用者個々の誕生会時には、ご家族の方達が集まって一緒にお祝いをされることもある。又、施設新聞で利用者の日頃の様子を伝えたり、意見や要望を出していただけるよう記載されている。ご家族から、居室の掃除や寝具の汚れについてご意見があり、早急に職員に申し送り、対応された。	事業所では「ご家族のご意見はとても貴重であり、改善のきっかけにしたい」と考えておられる。ご家族は「職員が忙しそうで話しかけにくい」「お世話になっているから言いにくい」というような心情であることも多く、事業所側からの意見の引き出しの工夫や機会作りが期待される。

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) ・定期的に(1ヶ月毎)スタッフ会議を開催している。 ・その都度、職員の意見を聞くようにしている。 (外部評価) 職員は、スタッフ会議を行う前に、意見をメモ書きして提出するようになっており、出された業務について等の意見が話し合われている。	チームケアが特徴のグループホームでは、職員同士の連携が大切である。職員が日常的にケアについて話し合い、意見を出し合えるような仕組み作りが期待される。又、職員個々の段階に応じて研修を受け、さらなる事業所のケアの質向上、利用者の暮らしの拡がりに向けて努力されてほしい。
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価) 各人の能力に応じた勤務体制を取っている。	
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 職員の能力に応じ業務内容や研修・会議等の参加をさせている。	
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	(自己評価) 毎週土曜日に同施設内他事業所スタッフと交流の機会を作っている。	
安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価) 好き嫌いや生活リズム、周囲の環境等把握するように努めている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		<p>初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	(自己評価)	
			<p>経済面や生活面、医療との関係作りについて説明を行っている。</p>	
17		<p>初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	(自己評価)	
			<p>利用者様にとっての安全と安心に対するサービスの内容や家族にとっての不安や負担を聞く様にしている。</p>	
18		<p>本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	(自己評価)	
			<p>家族として(自分の)対応するように努めている。</p>	
19		<p>本人と共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	(自己評価)	
			<p>面会等の際、御家族の希望を聞くことや又御本人様の状態を伝え御家族にとっても安心して頂ける様に努めている。</p>	
20	8	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	(自己評価)	
			<p>面会に来て頂いたり、こちらから会いに行けるように支援している。</p>	
			(外部評価)	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価)	コミュニケーションがはかれるように必要に応じて職員が間に入っている。
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価)	複合施設の利点を活かし、御本人様の為によりよいサービスがないか御家族の気持ちも含め利用して頂ける様に努めていく。
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価)	日頃から声かけを行い、本人の意向を把握出来るよう努めている。困難な方は本人本位で物事を考えるようにしている。
			(外部評価)	
			看護要約や入居時作成したフェースシートに、家族構成等の基本情報が記入されていた。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価)	個人ファイルに生活歴や生活環境など記入し職員が把握出来る様にしている。
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価)	介護記録にて1人1人の生活リズム、状態が把握出来る様にしている。

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	(自己評価)	
			面会等で御家族のケアに対する意見等を聞く様に努めている。1月に1回医療とのカンファレンスを設けている。	
			(外部評価)	
			担当職員とケアマネ、管理者で話し合い、介護計画を作成し、毎月評価を行っておられる。ご家族には計画について意見をお聞きするが、「任せます」と言われることが多い。	アセスメントの充実から、ご本人が主体の介護計画の作成に取り組みしてほしい。ご家族や地域の協力を得る等、視野を拡げ「ご本人がより良く暮らすため」の計画作成に向けて取り組まれてほしい。
27		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価)	
			介護記録に記入し、朝・夕の申し送り、昼にミーティングを行い情報を共有し、実践している。	
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	(自己評価)	
			夕涼み会や餅つきなど他部署の方達と一緒にしている。	
29		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	(自己評価)	
			年間行事の際に周辺施設へ協力依頼をしている、又散歩や買物をする等御本人の気持ちにより添えるよう努めている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかりつけ医と事業所 の関係を築きながら、適切な医療を受けら れるように支援している	(自己評価)	
			24時間体制で医療従事者と連絡がとれるようになっ ている。	
			(外部評価)	
			事業所は「医療があって介護がある」という「医療優 先」の考えのもと、「安全」に力を入れておられる。 体調の変化時等には協力医に連絡して指示を仰ぐよう になっており、又、看護師が来訪して利用者の健康管 理をされている。	
31		看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた 情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問 看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が 適切な受診や看護を受けられるように支援 している	(自己評価)	
			訪問看護師に健康状態や適切な処置を受けれている。	
			(外部評価)	
			入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療でき るように、また、できるだけ早期に退院でき るように、病院関係者との情報交換や相談 に努めている。または、そうした場合に備 えて病院関係者との関係づくりを行っている。	
32			(自己評価)	
			連絡を密にして情報交換や相談を行っている。	
			(外部評価)	
			早期段階で家族と話をし、医師との話し合いも行って いる。又、医師・看護師のアドバイスの元、介護を 行っている。	
33	12	重度化や終末期に向けた方針の共有と支 援 重度化した場合や終末期のあり方につい て、早い段階から本人・家族等と話し合い を行い、事業所でできることを十分に説明 しながら方針を共有し、地域の関係者と共 にチームで支援に取り組んでいる	(自己評価)	
			早い段階で家族と話をし、医師との話し合いも行って いる。又、医師・看護師のアドバイスの元、介護を 行っている。	
			(外部評価)	
			入居時に、終末期の支援についてご本人やご家族の希 望を聞いておられ、9割の方は「事業所で最期まで看 てもらいたい」という気持ちを持っておられる。事業 所では、法人医療機関の指示を仰ぎながら支援されて いる。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) 他部署と連携して急変時や事故の時など、応急処置の訓練を行っている。	
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価) 定期的に避難訓練を行っている。 (外部評価) 年に2回、避難訓練をデイサービスや高齢者専用住宅等の建物施設全体で行っておられる。事業所の訓練時に、地元の消防団の方も参加された。事業所が2階に位置していることもあり、今回の訓練時は「利用者の運び出し方」等について、習うことになっていた。	
.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	14	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価) 1人1人の性格を把握し、言葉使いに気をつけ声かけを行っている。居室訪室の際も必ず本人様の許可を得てから対応している。 (外部評価) 調査訪問時、職員は、利用者の食べこぼしをサポートされたり、排泄誘導時には小さな声で声かけされていた。	利用者への対応についての視点や支援のポイントについて勉強する機会を作り、利用者がその人らしい暮らしを続けるための支援に取り組んでいかれてほしい。プライバシーの確保について、居室の介護用品や共用空間にある個人情報書類等の整頓の配慮に取り組み、職員の利用者に対する声かけ等についても、個々の人格を尊重した支援について、さらなるスキルアップが期待される。
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) 本人にわかるように説明し、自己決定したり納得してもらえるようにしている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 基本共同生活として一緒に食事やレクなど他の利用者と協力して頂く様努めるが、本人の生活リズム意思を尊重するようにしている。	
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価) 髪のカットなど希望があれば美容院へ付き添って行っている。	
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 1人1人の好みを把握し、食事を提供している。下膳や食器拭きなど職員と一緒に手伝って下さっている。 (外部評価) 現在は、施設建物内の厨房で調理された食事が、ホームに届くようになってきている。利用者の好みは、献立を立てる際、聞き取っておられる。利用者の介護度が上がったこともあり、「職員が利用者と一緒に食事を取ることがむづかしい状態だ」と話しておられた。	利用者個々が食事を楽しむことができるような支援について、工夫できることはないか話し合われてほしい。例えば、職員の利用者へのかかわりを工夫されることでも、おいしい食事をさらに楽しむ事ができるのではないだろうか。さらに、食事を通じて利用者の「できること」を続けられるような支援にも、積極的に取り組んでいかれてほしい。
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 食事量・水分などチェック表に記入して人目でわかるようにしている。	
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価) 自分で出来る人は行ってもらい、出来ない人は職員介助にて口腔ケアを行っている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価)	
			チェック表にて1人1人の排泄パターンを把握してトイレ誘導を行っている。	
			(外部評価)	
			失禁予防体操をされている。おむつを利用されている方でも、できるだけ紙パンツの利用でトイレ誘導しておられる。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価)	
			排便がしばらく見られない時は、かかりつけ医師の指示の元下剤を服用してもらっている。朝のリハビリ体操等のレクリエーションを通して運動を働きかけている。	
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価)	
			本人が入浴したいかどうか確認をし入浴を行っている。	
			(外部評価)	
			入浴がお好きな方が多く、併設デイサービスの軟水を使用した大浴場を楽しみに入浴される方が多い。	
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価)	
			日中本人の希望があればソファや居室で休息をとってもらっており、夜間も本人の就寝時間に合わせるようにしている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 利用者ごとの薬情をみて理解に努めている。服薬は間違えないよう職員2人で確認を行っている。	
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 食器拭きや洗濯物などを手伝ってもらったり、将棋やカラオケなどレクリエーションも行っている。	
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) 家族の方が面会にこられた時に一緒に買物に行かれたりしている。	
			(外部評価) 現在は、職員の体制上のこともあり、利用者が外出する機会は少ない。建物施設内のデイサービスにお風呂やカラオケを楽しみに行かれている。時には建物の外周を散歩されることもある。又、計画を立てて、お花見等に行かれている。	現在は、利用者から外出希望がある時でも、職員の都合で外出できないようである。職員も「外に出ること」を支援したいと考えておられ、利用者が日常的に出かけられるような支援ができるよう、体制作りに向けて検討されてほしい。
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 自分で管理している人もいるが、出来ない人は1人1人金庫に入れて管理している。	
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 自分で出来る人はしてもらって、出来ない人は職員が行っている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>清掃をし、いつも綺麗な状態で居心地よく過ごしてもらえるようにしている。 季節感を採り入れるという工夫がされていない。 温度計で温度管理を行っている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>居間には、時計やカレンダーが掛けてある。事業所入口には、広告紙で作ったツルやペンギンが飾られていた。昼の間では、訴えが多く見守りが必要な利用者の方が布団を敷いて寝ておられた。ベランダでタバコを吸われる方がいる。</p>	
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>共用の場所を設けて利用者間同士でコミュニケーションをとってもらえるようにしている。</p>	
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>本人・家族と相談し使い慣れた物など取り入れて好みの環境になっている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>居室入り口には、名前と写真が掲示されていた。事業所で洋服ダンスが備え付けられている。枕もとに大きな時計や写真を置いておられる方があった。又、職員の名前を大きく書いて貼っておられる方、絵やカレンダーを掛けておられる方もいる。</p>	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	<p>(自己評価)</p> <p>利用者が少しでも自立できるよう、担当職員と相談して工夫している。</p>	